

京都革新懇

No203 会員ニュース 2009年 6月15日 発行

日本の平和と民主主義・革新統一をめざす京都の会

http://www.kyoto-kakusinkon.com

〒606-8397

京都市左京聖護院川原町4-13 教育会館別館

TEL/FAX共用 075-724-8270

全国革新懇の3つの共同目標

- ①日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

全国総会・全国交流会は10月24・25日に奈良市で開かれます。

ホームページ

地域・職場革新懇の活動紹介
会議・交流会・講演会などの紹介
ニュース・出版物紹介

http://kyoto-kakusinkon.com

安斎育郎教授にインタビュー



立命館国際関係学部 教授
国際平和ミュージアム 名誉館長

核兵器廃絶を中心に国際的動向でオバマ大統領の発言、北朝鮮の核実験も含め、どのように捉えておられるか、核廃絶を願う運動の今日的意義ということをお聞きしました。

日本人にとっての核

核兵器は日本人にとっては、広島・長崎の体験以来、非常に重要な問題であると同時に国際的にリーダーシップを発揮する事が求められる問題だと思っ
てですね。しかし残念ながら日本政府がイニシアティブを発揮出来ないでいる状態ですよね。

国連で必ず核兵器使用禁止条約と言
うのが出て、核兵器を使つてはいけな
いと言う事になるとか、決議に賛成出
来ないでいるんですね。賛成すると
アメリカに叱られるわけですね。

核の傘政策

いざと言つときは、アメリカの核で
守つてくれ、核の傘政策、アメリカ側
から見ると拡大核抑止政策。アメリカ
は、核で自分の国を守るだけでなく、
同盟国にも核の傘をさしかけるとい
うことになってるので、アメリカが核
兵器によって報復攻撃をするというの
も、安全保障上の約束になっているん
ですよね。

核兵器で守つてくれと言っている以
上は、口が裂けても言えないので、日
本政府は毎回この条約決議案に賛成し
てないわけですね。反対すると日本
国民に叱られるから、反対もしてい
ないので、いつもアブステンションと言
つて、棄権という態度をとり続けてい
るんです。

国民に顔向け出来ないの で「棄権」に

一回だけ最初賛成したけど、矛盾す
るといふ事で、以後は一貫して棄権に
まわっているんです。核の被害を一番
手ひどい形で受けた国が、国連総会の
場で、核兵器を禁止するリーダーシッ
プ取れない状況が続いている分けなん
ですよね。

しかもこの国は1947年に日本国
憲法というのは平和憲法持つて、その
前文で平和のうちに生きるって認めた
上で、憲法9条で、特に第2項で「前
項の目的を達するため陸海空軍その他
の戦力を保持しない」という形で戦力
不保持を国の最も基本になるところの
最高法規で宣言したにも関わらず。

共産勢力拡大の防波堤

ご承知の通り1947年の憲法が出
来た翌年に中国で共産党政権が出来て
翌年にソ連が核実験に成功し、その翌
年に朝鮮戦争が始まるという状況の中
で、アメリカは日本を共産勢力拡大の
防波堤にしなければならぬという事
で、再軍備を要請してきたわけですよ。
わずか3年の間は、軍事を全く持
たないという、憲法持つことに肯定的
であったその国が、まさに3年後には
再軍備を要請してきた中で、警察予備
隊が出来、2年後には保安隊になり、
その2年後の54年にはビキニ水爆の
年に自衛隊が出来て、その3年後に国
会で岸信介総理大臣が「自衛のための
最少限度に限り核兵器の保有も違憲で
はない」としてそういう政策をずっと
引きずってきたわけです。

そして1998年にインドが核実験
をした1週間後の参議院の予算委員会
で大森内閣法制局長官が「自衛のため
の最少限度を超えない限り核兵器の使
用も憲法違反ではないと言つことに論
理的にはなるうかと思えます」と答え
たことよつて、この国は憲法9条の
国として益々世界に知られようとして
いながら、しかも憲法9条が世界の平
和創造の面で世界に果たす役割、人類
史的役割が益々認識されてきている一
方で、日本においては核兵器を持つて
も使つても良いという所までいき、も
うこれ以上解釈改憲無理って所までい
つて、条文そのものを変える動きにま
でいつているわけですね。

2面に続く

戦後の反核運動の波

そういうことに対して日本国民はいま、抵抗運動を進展させつつあるのも事実で、多分戦後4つ目の平和運動の大きな波かなという気がします。

1つは、1950年代に高まりを見せたヒキ二事件を皮切りとする反核平和運動の盛り上がりですね、2つ目は、多分60年安保とその延長線上にあったベトナム戦争に軍事基地を提供した日本に対する巨大な国民的反撃ですね、ゼネストで何百万という労働者が参加したあの時期ですね。

3つ目は、78年の例の第1回国連軍縮特別総会があった年を中心にこの国で展開された3000万人署名、巨大な署名運動が展開された、あの反核運動です。

多分いま、4つ目の全国に8000近い地域の「9条の会」が出来る運動ですね。

だらしない政府の態度

そういう意味では日本国民の運動も、それなりの力強さを持って展開されているとはいえない、政府は核兵器についてはだらしない、リーダーシップも取れない姿勢を取っている、これは何とか変えさせていく必要があるという事だと思っ

厄介な隣国の動き

厄介な事の一つが隣国の北朝鮮がノドンとかテポドンとかを打ち上げてみたり、人工衛星と称するロケットを打ち上げたり、あるいは核実験を2度に渡りやってみたりと言ったことが、政府の動きに加勢しているんですね。

日本人も隣国の北朝鮮がミサイル打ち上げたと言つと、非常に危険な国が隣にある以上、備えあれば憂いなしとか、軍事力を整備する必要があるふうにいざがただし、核兵器の実験をやると一大事だと、こちらも核兵器ぐらい持つ準備をした方がいいのではないかと麻生氏が総理大臣になる直前にそういうこと言っていたし、しかも核兵器を持つべきだと考えている国会議員が100人を下らない。危うい状況が一方ではある。

戦争知らない世代の感覚

若い人なんか見てみると、戦争というものを知らないと言つこともあるけれども、隣国がミサイル持ったという事になるとそれだけで、極めて重大な戦争の脅威が迫っているというふうな感覚にとらわれるんです。

戦争というのは決してミサイル持ったり核兵器持っているだけでは勝てない、それは60年代から70年代のベトナム戦争が証明済みです。あの頃アメリカは世界最大の核保有国でもあり、しかも大陸間弾道ミサイルを山ほど持っていました。

ベトナム戦争で政治的にも軍事的にも敗北したわけです。

戦争の実態とは

ミサイル能力持ち、核兵器持てばすぐ戦争に勝てるというような事は、戦争の実態からしてそんなものではないという事は、ちょっと歴史を見ればわかることなんです。

けれども若い人たちはある種の脅しにのつて、そしてすぐにこちらも身構えたほうが良いというふうには、軍事主義的な考えに落ち込んでいくことがありますね。それが、思うように政府に使われていっていることがあるように思っています。



立命館大学 国際平和ミュージアムロビーにて、お話を聞かせていただきました。

国民向けのデモンストレーション

この前の4月5日の政府は「飛翔体」と言っていました、打ち上げた時も備えがあるんだということを、自衛隊のプレゼンスを見せるために

首都圏とか東北に、PAC3なんかを配備したと、普通本場の戦争なら、こつちの戦力が何処に配備されているか等というのを明らかにするバカはいないので、そんなこと言ったら狙い撃ちされるのが関の山です。あれは国民向けに自衛隊も働いていますということではないんです。

こういうことがある以上自衛隊の存在を軍として憲法上認知させるべきだというようなことを持っているわけなんです。

騙されない世論形成を

そういうことに乗せられない、世論形成をする必要がある。と思います。おりもおり来年、2010年がNPT核不拡散条約の再検討会議が開かれて、しかも最大最強の核保有国であるアメリカに新しい大統領が就任して、国際社会に対して核兵器を最初に使用した国として道義的責任があるという認識に基づいて、「核兵器のない世界を目指したい」と言っているわけですね。

まさに来年2010年は、核兵器のない世界を求めるわれわれにとつて極めて重要な年を迎えつつあるんだけれど、その時に北朝鮮が核実験をやったという事の反動的な意味は決して小さくない極めて重大なことであると云えます。

続きは次号等に掲載します。

京都母親大会開催

千三百人の参加
綾部市中丹文化会館

いのちを生み出す母親は
いんちを育て
いのちを守ることを望みます。

5月31日の日曜日、午後1時から綾部市中丹文化会館で第五十四回京都母親大会が開催されました。千三百人の参加で会場は埋め尽くされました。

戦時中に動物園の象たちが殺されました。政府曰く「爆撃で動物園が攻撃され、檻が破壊されたら動物が町に出て行けば大変な目にあう」が理由でした。名古屋の子供たちが、「象を殺さないで」と願います。その願いが通じて「象列車」が走ることになりました。オープニングは親子合唱「ぞう列車」で始まりました。会場は通路も人で埋め尽くされ超満員で熱気に溢れます。府下一円、北は丹後、南は相楽郡から観光バスが十数台やマイクロバスやマイカー、列車で1300名が参加しました。



記念講演の9条の会事務局長、東大教授 小森陽一さん

記念講演は、9条の会事務局長、東大教授の小森陽一さんです。樋口一葉・夏目漱石の文学をひも解きながら、100年に一度の経済危機を一葉・漱石の小説から「戦争しない国」日本の歴史について、日清戦争日露戦争時代に遡りその時代を描いた「にこりえ」(一葉)「それから」(漱石)を解説して話が展開されます。

東京ドーム(ジャイヤンツのホームグラウンド)は、元陸軍砲兵工廠だった。日本最大の軍需拠点であった。改憲派の親玉として暗躍する渡辺読売グループ会長との不思議な因果関係について触れ、「にこりえ」(一葉)小説の舞台がその場所になり、新開地として売春が行われた「銘酒屋」になり、布団屋の主人が転落して貧困化していく様を現代の貧困化との比較で話されたのは興味深い話でした。

一葉の時代に「良妻賢母」が叫ばれたが、昔は「賢妻良母」であった

た。女性を家庭に閉じ込めるために「良妻賢母」と言われた背景に、国家の思惑があった話も面白い話でした。話は、現代の改憲派の企みに及び、明文改憲と解釈改憲とが車の両輪としてうごめき、憲法9条2項を変え、靖国派の動きと9条の会を中心とした憲法守れの勢力との激しいつばぜり合いの情勢に触れ、「戦争しない国」日本へ母親運動が果たす役割について語り、参加者を励ます講演でした。



各地の母連が作成したタペストリが壇上に並び、女性コーラスのうたこえが館内に響きました。第55回日本母親大会イン京都(7月25〜26日)成功へ今日の参加者が4人〜5人誘い合い「日本母親大会成功へ意気高い取り組み」というアピールを採択し京都母親大会は大成功のうちに幕を閉じました。

2009年5月31日

京都母親大会に参加して

京都革新懇事務局 阪田



オープニングは親子合唱「ぞう列車」で始まりました。



日本母親大会は
09年7月25〜26日に
京都で開催されます。

地域革新懇からの報告

乙訓地域でリレー宣伝

乙訓革新懇は5月30日、海賊対処派兵新法の廃案、北朝鮮の核実験に抗議するリレー宣伝行動を行いました。

向日市のスーパー前では中嶋京建労副支部長海賊対処法案が憲法9条に違反し、自衛隊の恒久的な海外派兵と武力行使、集団的自衛権の行使につながるので参議院で廃案にしようと訴えました。つづいて松重乙訓原水協代表が北朝鮮の核実験は許せない、核兵器廃絶の署名運動の成功を。佐藤地労協議長が依然として雇用破壊がすすんでいるもとで解雇された労働者が組合に結集し直接雇用を勝ち取った経験を報告し、たたかえば勝ると乙訓地域ユニオンへの参加を呼びかけました。



長岡京市では新婦人や教職員組合の代表、日本共産党の藤本市会議員、大山崎町では年金者組合の代表や神原町会議員が訴えました。当日は午後2時から4時30分まで3カ所街頭宣伝。「危険な海賊対処」派兵法案。自衛隊が戦後初めて人を殺すのか。武力行使は許すな。「PCC哨戒機の出動は違憲」のチラシを配布。大通りや住宅地では宣伝カーを走らせました。(梅林)

西京革新懇第五回総会

5月24日に京建労西京事務所第五回総会を開催しました。

乙訓革新懇事務局長梅林昭夫さんの「乙訓革新懇の経験について」と第して講演をして頂きました。粘り強く地道な活動と情勢にあった企画によって今日の到達が築かれたこと等々学ぶべきことが多々ありました。来賓として、せのお直樹日本共産党市会議員、全国革新懇と京都革新懇からメッセージをいただきました。

第四回総会期は、消費税増税反対・愚痴る会など学習や親睦を深める忘年会、3月には「歌声喫茶」を開催し革新懇を知っていたく企画などに取り組みましたが、年間計画をたてるのが大切との意見がだされました。また、組織拡大強化の課題では全国革新懇ニュース読者30名の到達など実績があるものの今後の重視すべき課題であることを明らかにしました。

第五回総会期は、これまでの教訓と総括の上になつて、「革新二百標」を堅持しつつ、運営は柔軟に活動を進めることを基本に、次の「五つの努力目標」を設定し実践することにより、当面100名の賛同・会員の西京革新懇を声指すことを確認。

広範な区民の結集をはかるために、情勢と区民の要求を適格に把握し、重点階層への対話をすすめます。中長期の計画をたて、それをべー

スにその時々のからし、政治、平和憲法など諸問題や話題について、ミニミニであつても、「気軽に集まって、語り合う」例会の毎月開催に努力します。例として、「桂自衛隊の見学(視察)」、「終戦記念日にお寺の協力を得て梵鐘を鳴らす」ことに挑戦等々です。

「列島の津々浦々での国民的多数派めざす革新懇づくりは壮大な挑戦何人からでも活動ししやすい形態で結成し、豊かな発展を」(全国革新懇)の方針を西京での具体化として、職場・学区・地域など多彩に、西京区の網々に革新懇を作り、量的にも質的にも、西京革新懇の主体的力量をたかめます。

そのために全国革新懇ニュースの購読者と賛同者・会員を拡大し、同時に配布・集金に多数参加していただくよう働きかけていきます。活動を伝え広めるために、ニュースの定期発行をします。

会の運営は、役員中心の民主的運営を行います。そのため、世話会を毎月開催します。代表世話人に幸良様と野田伝法様を選出し、決算・予算を承認し開会

3・27品川講演冊子 発行



内容は品川正治氏の京都旧制三高時代の思い出、そして戦争体験、憲法九条へとつながる講演内容、講演参加者からの感想を掲載しています。

各地域・職場革新懇等での普及・活用をお願いします。1部 200円です。



北・上京革新懇総会
5月29日
能開センターにて
20数名の参加